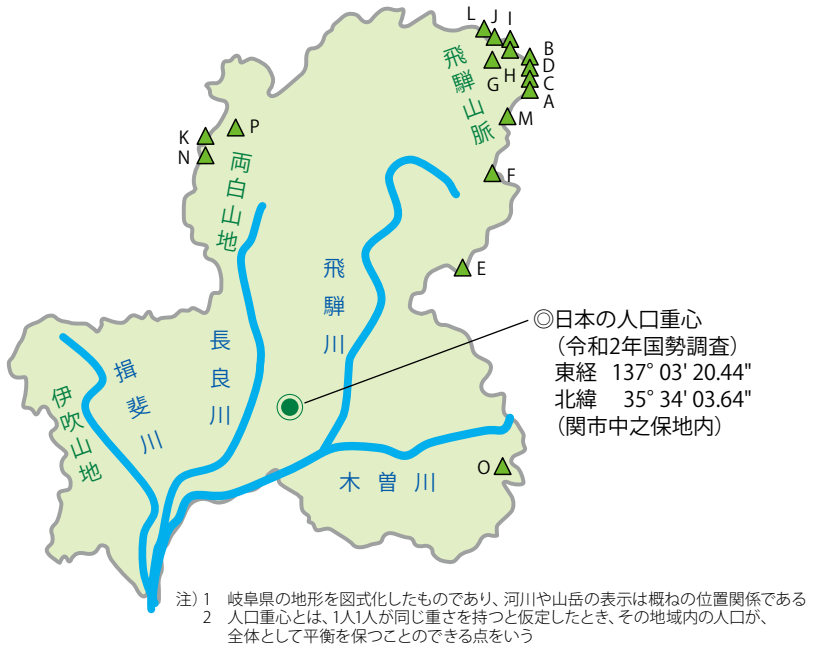


A 地勢・位置

●地勢・位置

- ・国土のほぼ中央に位置し、関市中之保地内には日本の人口重心がある。(令和2年10月1日現在)
- ・全国では数少ない内陸県の一つ。北部及び東部の大部分は山地で、南部に濃尾平野の一部である美濃平野がある。
- ・東部県境には標高3,000mを越す山々を連ねた「日本アルプス」と呼ばれる飛騨山脈、西部県境には両白山地や伊吹山地等がある。
- ・これら山地の間に飛騨高地・美濃高原があり、南部へと高度と起伏を減じながら、海拔0mの水郷地帯に及ぶ。
- ・このため「飛山濃水」の地と呼ばれている。



資料：国土地理院、総務省統計局

A 1 主要山岳（標高2,000m以上） (令和6年4月1日現在)

図	名 称	標高(m)
A	奥穂高岳	3,190
B	槍ヶ岳	3,180
C	涸沢岳	3,110
D	北穂高岳	3,106
E	御嶽山	3,067
F	乗鞍岳	3,026
G	笠ヶ岳	2,898
H	双六岳	2,860

図	名 称	標高(m)
I	三俣蓮華岳	2,841
J	黒部五郎岳	2,840
K	白山	2,702
L	北ノ俣岳	2,662
M	焼岳	2,455
N	別山	2,399
O	恵那山	2,191
P	三方崩山	2,059

注) 山頂が隣県にある山岳を含む

資料：国土地理院

A 2 主要河川 (令和6年4月1日現在)

河 川	県内延長(km)
木曽川水系	2,351.1
長良川	144.6
飛騨川	136.8
木曽川	122.3
揖斐川	91.9
庄内川水系	177.8
矢作川水系	108.5
神通川水系	478.7
庄川水系	198.7
九頭竜川水系	9.0

資料：県河川課